

様式 A-1
(FY2018)

平成 31 年 3 月 28 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・実施責任者氏名: 沖縄県立開邦高等学校 喜舎場牧子
2. 講師氏名: Dr. Aleksandra Natalia Jarosz
3. 講義補助者氏名: なし
4. 実施日時: 平成 31 年 3 月 19 日 (火) 13:45 ~ 15:35
5. 参加生徒: 1 年生 52 人、 2 年生 43 人、 ___ 年生 ___ 人 (合計 95 人)
備考: (例: 理数科の生徒) 学術探究科 文系の生徒
6. 講義題目: Studying the past and the present of Ryukyuan languages
7. 講義概要:

本講演では、講師の出身国であるポーランド、研究者になった動機、方言研究の必要性・有意義性など、写真や音声を交えて話が進められた。また、方言を次世代に残すことの重要性について、言語学的価値の観点からお話していただいた。締めくくりには、本県の未来を担う世代である生徒たちに博士からの力強いメッセージが送られた。
8. 講義形式:
 - 1) 講義時間 60 分 質疑応答時間 20 分
 - 2) 講義方法 (例: プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)
プロジェクター及びスピーカー使用による講義
 - 3) 事前学習
 有 ・ 無 (どちらかに○をしてください。)
使用教材 語彙リストの確認及び英文アブストラクトの和訳
9. その他特筆すべき事項:

特になし